

# テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

神奈川大学 清水俊裕 ゼミ 清水ゼミ C パート

2

部門番号

部門名

経済政策論

テーマ

地方活性化

サブテーマ

人口

趣意文

私たちはテーマを地域活性化とし、以下の現状認識を踏まえた上で、地方における雇用のあり方や都市計画、地域福祉等についての考察を行い、地方の衰退を防ぐための政策を考えていく。

現在、日本は人口減少と少子高齢化に直面している。これらは二つの問題を生む。一つは現行の社会保障制度が財政負担の増加により、維持出来なくなるという問題だ。もう一つの問題が地方の衰退である。地方の人口減少・流出と高齢化は著しく、存在が危ぶまれる地域も多い。

このままいくと、将来の地方はどうなるのか。2014年に国土交通省が策定した「国土のグランドデザイン 2050」では、2050年までに現在の居住地域の内、19%が無居住化し、44%の居住地域で人口が半減すると予測している。更に同資料によれば、人口規模の小さい市町村ほど人口減少率は高くなる。

地方では、人口の自然減少と、東京一極集中による若年層人口の社会減少が相まって、人口減少と少子高齢化が加速している。

一方で、東京一極集中は首都圏に住む人々にも大きな問題をもたらしている。例えば、交通の混雑や高い生活コストの負担、待機児童の発生などが挙げられる。

これら東京一極集中による問題は、地域活性化によって一極集中を是正し、人口を地方に分散させることが解決への近道となる。しかしながら、未だにその人口集中が改善される見込みは薄い。

# テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央 大学 佐藤拓也 ゼミ 経済政策 パート

2

部門番号 部門名 経済政策論

テーマ 経済政策について

サブテーマ 外国の経済政策との関係、日本への影響

趣意文

先日アメリカでは大統領選挙が行われ、トランプ氏が当選したが、言動や政策が問題視されている。トランプ政権によるアメリカの TPP 離脱など、外国の経済政策が日本に与える影響は大きい。そこで、例に挙げた TPP など日本や外国の経済政策、主に通商政策に触れながら日本や外国の政策の歴史的背景、相互的な影響などにアプローチをかける。また、それぞれの政策におけるメリット、デメリットを日本や外国の視点から討論する。

# テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

法政 大学 藤澤利治 ゼミ 藤澤利治 C パート

2

部門番号

部門名 経済政策論

テーマ EU加盟国の格差問題について

サブテーマ 格差問題の現状と解決策

趣意文

私たちのゼミではヨーロッパ経済について学んでいます。  
現在、EUでは格差問題が深刻化しています。この格差問題の原因を理解し、解決するためにはどうすればよいかを考え、議論していきたいと思っています。

# テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

法政 大学 藤澤利治 ゼミ 藤澤利治ゼミ A パート

2

部門番号

部門名 経済政策論

テーマ EU の貿易政策

サブテーマ 英の EU 離脱について～貿易を中心にして～

趣意文

現在、英 EU 離脱が世界で注目されている。そのため、私たちのグループでは英 EU 離脱が EU 内の貿易にどのような影響をもたらすか研究している。

具体的には、関税はどうなるのか、英国内に拠点を置いている企業はどうなっていくのか、英の貿易はどのように変化していくのか、などです。

# テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

法政 大学 藤澤利治 ゼミ 藤澤利治ゼミ B パート

2

部門番号

部門名

経済政策論

テーマ 地域経済統合の問題について

サブテーマ EU・NAFTA・ASEAN を比較して見る

趣意文

現在ギリシャ危機・英国の EU 離脱があったことや、米国のトランプ新政権の意向により地域経済統合のあり方などに注目が集まっている。いくつもある統合の中でも世界で見たときに経済的な影響の大きい EU と NAFTA と ASEAN の 3 つを例に挙げて、それぞれの内容を見つつ比較しながら今ある問題点に着目していく。

# テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

國學院 大学 根岸 ゼミ 地域再生 パート

2

部門番号

部門名

経済政策論

テーマ

地域再生

サブテーマ

まちづくりのための人材育成

趣意文

近年至る所で「地域再生」という言葉が使われるようになっていきました。これは、危機的状況にある地域が存在しているためだと考えられます。この状況を打開するべく自治体ではゆるキャラ・B級グルメ・イベントの企画によるまちおこしを行ってききましたが、人気が出て長続きするような企画を打ち出すことはできず、結果的には一時的な利益ばかりとなりました。持続的に収益性を見込めるようなまちづくりを行っていくには、行政と民間の協働に焦点を当てるべきだと考えます。なぜならば、近年、住民のライフスタイルの多様化、地方分権等の社会環境の変化によって、地域の個性を活かし、社会のニーズに応えられるまちづくりが必要とされているからです。

しかし、地域の人々がまちづくり運動に参加しやすくなる取り組みや、まちづくり運動に対する理解を深めてもらう場所は少なく、まだ活動することが難しいのが現状です。そこで、私たちはその枠組みの一つとして「学校・自治体と連携した商店街の活性化事業による地域再生」を考えています。

宮崎県日南市にある油津商店街では、地元の行政と「地域再生請負人」と呼ばれる外部の人たちが力を合わせ、地域住民による再生を後押しする仕組みが仕掛けられ、わずか3年で寂しかったシャッター街を蘇らせ、全国の注目を浴びました。

この事例を基に、商店街と自治体、そして教育機関との連携を考えました。

例えば、小学校や中学校での課外活動の一環で、近隣の商店街とタッグを組みオリジナルブランドのものを販売し、自治体は資金を援助する、という仕組みを考えています。

これによって、商店街の活性化だけでなく、課外活動という授業を通して子供たちの「地域」に対する意識改革にもなり、次世代を担う若者の地域からの流出を防止することにもつながると考えています。